

# 簡易な所得額の申立書 【公的年金給付等受給者】

○「簡易な収入額の申立書(申請者本人用)」の【要件】又は「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」の【要件】を満たさなくても、以下の【所得要件】を満たせば支給の対象となります。

★所得で申し立てたい方の氏名を記載の上、その方の申請者からみた続柄にチェック(☑)してください。

氏名	続柄	<input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 父母 <input type="checkbox"/> 祖父母 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> 孫 <input type="checkbox"/> 曾祖父母 <input type="checkbox"/> 曾孫 <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 配偶者
----	----	---

以下、上記の氏名の方についての必要な情報をご記入してください。

A 「簡易な収入額の申立書(申請者本人用)」の②または「簡易な収入額の申立書(扶養義務者等用)」の③の金額をご記入ください。

年間収入額										円
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

## 控除等

B Aの年間収入額のうち、養育費に係る控除の額(平成31年1月～令和元年12月分)

養育費を記入した方										円	※養育費の20%の金額をご記入ください。 ※1円未満の端数が生じる場合は四捨五入してください。
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

C Aの年間収入額のうち、給与収入に係る給与所得控除の額(平成31年1月～令和元年12月分)

給与収入を記入した方										円	※令和元年1月～令和元年12月の1年間の控除額をご記入ください。
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	----------------------------------

D Aの年間収入額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の額(平成31年1月～令和元年12月分)

事業収入又は不動産収入を記入した方										円	※令和元年1月～令和元年12月の経費をご記入ください。 ※帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--

E Aの年間収入額のうち、公的年金等収入に公的年金等控除の額(平成31年1月～令和元年12月分)

年金収入を記入した方										円	※下記の表より控除額を確認し、ご記入ください。
------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	-------------------------

公的年金等控除	65歳未満	①Aの額のうち年金収入(課税年金収入と非課税年金収入の合計) 分が130万円以下の方	→ 70万円
		② " 130万円超410万円以下の方	→ 公的年金等収入分×25%+37.5万円
		③ " 410万円超770万円以下の方	→ 公的年金等収入分×15%+78.5万円
65歳以上	①Aの額のうち年金収入(課税年金収入と非課税年金収入の合計) 分が330万円以下の方	→ 120万円	
	② " 330万円超410万円以下の方	→ Aの額のうち公的年金等収入分×25%+37.5万円	
	③ " 410万円超770万円以下の方	→ Aの額のうち公的年金等収入分×15%+78.5万円	

F その他の控除

(控除名)	a									円	e								円
(控除名)	b									円	f								円
(控除名)	c									円	g								円
(控除名)	d									円	h								円
その他控除額合計 (a + b + c + d + e + f + g + h)										円									

※令和2年度(令和元年中)の課税証明書に記載のある、以下の控除の金額をご記入ください。

- ・雑損控除【記載額】
- ・医療費控除【記載額】
- ・小規模企業共済等掛金控除【記載額】
- ・障害者控除【27万円】
- ・特別障害者控除【40万円】
- ・寡婦・寡夫控除(児童の父母の場合を除く)【27万円】
- ・特別寡夫控除(児童の父母の場合を除く)【35万円】
- ・勤労学生控除【27万円】

その他、肉用牛の売却による事業所得がある場合や、純損失の繰越控除などがある場合にもご記入いただけます。

なお、社会保険料控除、生命保険料控除、地震保険料控除、寄附金控除、配偶者控除、扶養控除、基礎控除については記載できません。

※控除が4つ以上ある場合は、一つの控除名の欄に、2つの項番または控除名をご記入ください。

G 社会保険料相当額

				8	0	0	0	0		円	※一律に8万円の控除となるため、記載不要。
--	--	--	--	---	---	---	---	---	--	---	-----------------------

H 各控除等の控除後の所得額 A - (B + C + D + E + F + G)

年間所得額										円
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

→扶養親族が1人の場合には、Hが230万円未満であれば【所得要件】を満たすため、Iの記載は不要です。

(次ページに続きます)

**I 要件に該当するか確認してください。**

(1) 以下のどちらか当てはまる方を選択してください。

「簡易な収入額の申立書」 (申請者本人用)  
収入基準Aの方

その他の方

(2) 「簡易な収入額の申立書」 (申請者本人用または扶養義務者等用) 【☆】と同じ人数にチェックしてください。

チェックしてください。		基準額
✓	人数	
	0人	1,920,000円
	1人	2,300,000円
	2人	2,680,000円
	3人	3,060,000円
	4人	3,440,000円
	人	円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

チェックしてください。		基準額
✓	人数	
	0人	2,360,000円
	1人	2,740,000円
	2人	3,120,000円
	3人	3,500,000円
	4人	3,880,000円
	人	円

※5人以上いる場合は、1人増えるごとに380,000円を加算した金額をご記入ください。

(3) 「簡易な収入額の申立書」 (申請者本人用または扶養義務者等用) 【☆】を用いて計算を行ってください。

i (2) で選択した基準額	円
ii ☆の◎の数×150,000円	円
iii ☆の○の数×100,000円	円
所得基準額 (i + ii + iii)	円
	V
年間所得額 (表面のH)	円

i (2) で選択した基準額	円
ii ☆の○の数×60,000円	円
(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
所得基準額 (i + ii)	円
	V
年間所得額 (表面のH)	円

→ 【所得要件】Hの年間所得額が所得基準額より低いこと

【確認事項】 (各項目のチェック欄 (□) に『✓』を入れて頂き、氏名をご記入ください。)

【所得要件】に該当します。  控除額が分かる書類 (帳簿等) を提出しています。  
(前ページのD欄を記入した場合のみ)

本申立の内容に相違ありません。

令和 年 月 日

申請者氏名

扶養義務者氏名